

## 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

- 分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験 -

### 1. 今後の見通し

予測期間：2002年9月下旬から11月上旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

#### 1) 道東海域

- (1) 来遊量：来遊資源量は9月下旬に増加傾向が持続し、10月上旬には最高水準に達する。10月中旬に激減し、下旬には極めて低水準で推移し、11月上旬には断続的となる。
- (2) 漁場：主漁場は9月下旬以降、釧路沖～襟裳岬沖合域にかけて形成される。10月以降には釧路沖の漁場が断続的な形成状況となる。

#### 2) 三陸海域

- (1) 来遊量：9月下旬にやや増加傾向で推移し、10月上旬に一時低下し、中旬に中位水準で推移する。10月下旬から11月上旬にかけては低水準で推移する。
- (2) 漁場：漁場は9月下旬には南北に連なって形成される。10月上旬にやや分散する傾向があるものの、中旬以降南北に断続的に形成される。

#### 3) 常磐海域

- (1) 来遊量：9月下旬以降、低水準ながら来遊があり、10月中・下旬には平年並みの水準で推移する。
- (2) 漁場：比較的早く常磐南部から鹿島灘の海域にも漁場が出現し、後続群が順次加わる。前年とは異なり長期間にわたり犬吠周辺に漁場が形成される。

### 2. 予測の概要

海 域		9月下旬	10月上旬	10月中旬	10月下旬	11月上旬
道東海域	来遊量					
	動向	中位増加	高位水準	急減	断続的	断続的
	漁場	釧路～襟裳岬周辺・沖合域	襟裳岬周辺・沖合	襟裳岬沖合	襟裳岬沖合	襟裳岬沖合
三陸海域	来遊量					
	動向	増加	一時低下	中位水準	低位水準	低位水準
	漁場	北部～南部	北部～南部	北部～南部	断続的	断続的
常磐海域	来遊量					
	動向	断続的	低位水準	増加傾向	横這	横這
	漁場	常磐・鹿島灘	常磐・鹿島灘	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺

### 3. 漁況の経過概要

(9月上旬)

#### 1) 道東海域

- (1) 来遊量： 9月上旬の来遊量の状況は、比較的低水準で推移していたが、旬の末には上向きとなった。全般には資源量指数からみると平年をやや下回っていた。
- (2) 漁 場： 9月1～8日頃にかけて、厚岸～落石沖の30～60海里付近及び釧路～厚岸沖の60～110海里付近に低調ながら継続して漁場が形成され、色丹島南60海里付近にも一時的に漁場が形成された。9～10日に襟裳南東～東南東80海里付近に好漁場が形成されて漁模様が上向いたが、釧路南～厚岸～落石25～40海里付近に形成された漁場は依然低調に推移した。
- (3) 魚 体： 魚体組成は、全般に、大型魚及び中型魚がそれぞれ3割前後、小型魚が4割前後であった。